

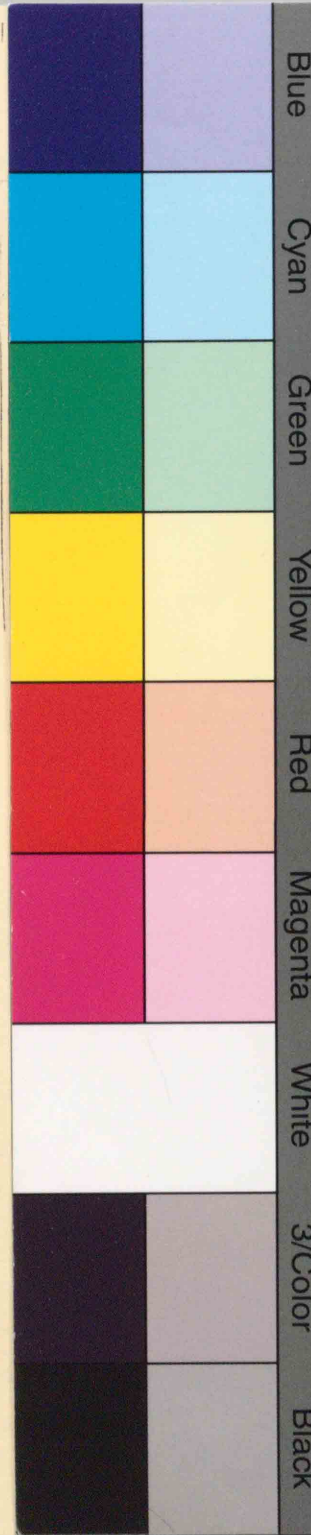
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

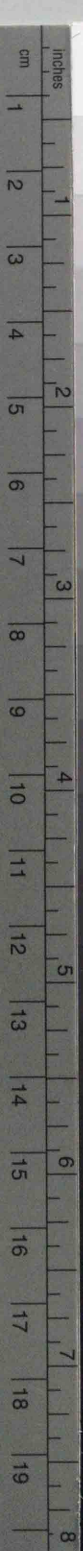


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches



© Kodak, 2007 TM: Kodak



41149

教科書文庫

4
720
42-1944
<del>3000</del> 26360

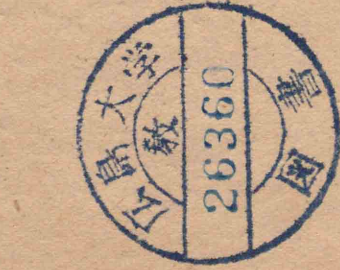
200030  
2746  
1944

資料室

3759

Chuzo

教育部檢定濟南  
昭和十九年二月五日 高等女學校・實業學校蠶能科用



# 書道二

青島大學圖書部



中等學校  
女子用

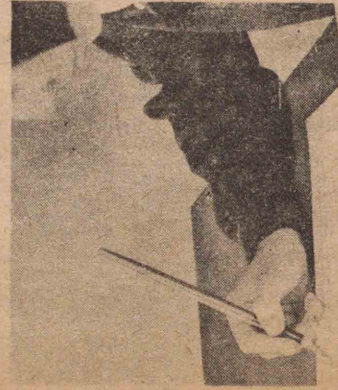
漸進之自主者  
能而公私維也  
定而之國俄奔  
若舞格相次期

東京大學  
圖書印

懸腕



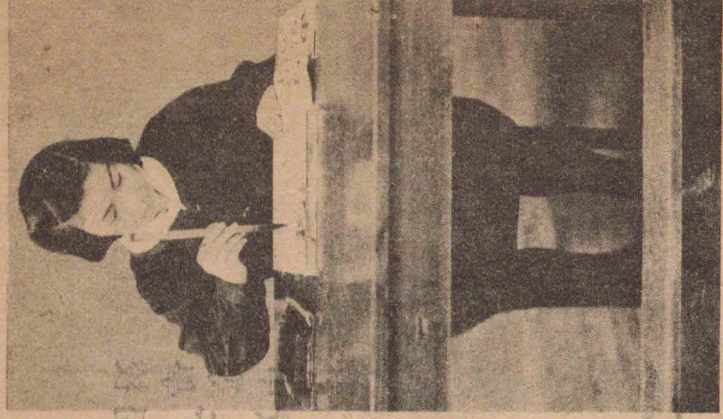
硬筆の持ち方



枕腕



腰掛けの姿勢



提腕



小野道風書 屏風土代

思 说 林 花 霞  
用 晨 烟 总 马 共  
舞 来 青 练 练  
陶 门 柳 乡 尔 装

ノノノノノ

ノノノノノ

ノノノノノ

ノノノノノ

ノノノ

ノノノノノ

ノノノノノ

秋哥下

九月廿三日  
 秋哥下  
 九月廿三日  
 秋哥下  
 九月廿三日  
 秋哥下  
 九月廿三日  
 秋哥下



賴山陽書

吾皇昔養我漢然之氣

己丑五月仲夏于備後右府 兼

賴山陽書

解聲 前：夜過河曉看  
千兵擁大牙遠北十年磨一  
劍流星光底象長蛇

龍河津島野園 山陽外史



九月十七日羲之報王  
孔侍中書志必不  
以領軍亦復何  
厚恩不能忘中  
故自是取消息  
報

信 信 信 信 信  
信 信 信 信 信  
信 信 信 信 信

古今中外  
東西今

大明治大  
正昭和

+

言忠信  
行篤敬



松聲谷  
花影重

君仁臣忠

父慈子孝

生產增強

勤勞奉仕



涼風暮雨

紅葉青苔

挨拶 招待 訪問 依頼

報知 失禮 約束 早速

見舞 祝儀 返事 慶賀

急用 粗末 世話 照會

凡之玉士に心あり

志を致し命を致す

人臣の道は心あり

身は高きと心は下なり

Handwritten text in the first column of the right page.

Handwritten text in the second column of the right page.

Handwritten text in the third column of the right page.

Handwritten text in the fourth column of the right page.

Handwritten cursive text in the top row of the right page.

Handwritten cursive text in the second row of the right page.

Handwritten cursive text in the third row of the right page.

Handwritten cursive text in the bottom row of the right page.

一度、私に好物の手紙を

お返しを、誠に、

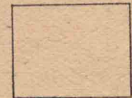
神前にお返し、家中にて

志を、郷里の

お返し、

岐阜縣本巣郡席田村  
佛生寺一五

國枝子六七様



東京都渋谷区神山町五

那智新英子

昭和 年 月 日

元朝

神代

思行

書



五言古詩

昭憲皇太后御歌

天啓之運

之氣

皇太后御歌

光緒

東に野小の山あり

立流見之山あり

東に月山あり

奴

草花のつぼみ

つぼみは花のつぼみ

花はつぼみのつぼみ

つぼみは花のつぼみ

五月二十日 金曜日 晴 今日はお天気があ  
り。学校で三年生の身体検査があった。一年の時より、  
身長は五センチ以上伸び、体重もすねえふえふねた。  
北沢の巾着を一つしよに帰る。家で後始末して  
と、山本縣金熊隊司令長官の壮烈な戦死がラジオに  
よって傳へられた。驚きの餘りに然とする。「海ゆがば」の  
曲が響いて来ると、思はず涙が出て、撃ちてしまふの憤  
りが湧く。それから一層「つら」な気分になる。

書道 二 女子用 備考

(一) 行成花押謹言。自去春……

鎮而公私有難抛……

逗留之間。俄奉……

節舞姫。相次期明……

(藤原行成書 消息)

(二) 見説林花處々聞。長興並馬共尋

來。青絲繰出陶門柳。白玉裝……

…… (小野道風書 屏風土代)

(三) うたあはせのうた

みなもとのまさすみ

やまかぜにとくるこほりのひま

ごとにうちいづるなみやはるの

はつはな

紀友則

はなのかをかぜのたよりにたぐ

へてぞうぐひすさそふしるべに

はやる (傳紀貫之書 高野切第一種)

(四) 秋歌下

これさだのみこのいへのうた

あはせによめる

ふむやのあさやす

ふくからにあきのくさきのしを

るればむべやまかぜをあらして

ふらむ

くさもきもいろかはれどもわた

つみのなみのはなにぞあきなか

りける (傳紀貫之書 高野切第二種)

(五) うたをゆしけるときにたてま

つるとてよみておくにかきつ

けてたてまつりける

伊勢

やまがはのおとにのみきくも  
しきをみをはやながらみるよし  
もがな

卷第十八

(傳紀貫之書 高野切第三種)

(六) 吾善義我浩然之氣 己丑春仲書  
于備後古府襄 (頼山陽書)  
鞭聲肅々夜過河 曉看千兵擁大  
牙 遺恨十年磨一劍 流星光底  
逸長蛇 題河中島鬪圖 山陽外  
史 (頼山陽書)

(七) 九月十七日義之報 且因孔侍中  
信書想必至 不云領軍疾復  
問

憂懸不能須臾忘心 故旨遣取消  
息 義之報

(王義之書 九月十七日帖)

- (八) 信……(行・草の變化)
- (九) 中外 古今 東西
- (十) 明治 大正 昭和
- (十一) 言忠信 行篤敬 (論語)
- (十二) 松聲落 花影重
- (十三) 君仁 臣忠 父慈 子孝
- (十四) 生産増強 勤勞奉仕
- (十五) 涼風暮雨 紅葉青苔
- (十六) 挨拶 招待 訪問 依頼  
報知 失禮 約束 早速  
見舞 祝儀 返事 慶賀  
急用 粗末 世話 照會
- (十七) 凡そ王土にはらまれて忠を致し

命をすつるは人臣の道なり。必  
ずこれを身の高名と思ふべきに  
あらず。(神皇正統記)

(六) (五)

萬づよりも手はよく書かまほし  
きわざなり。歌よみ學問などす  
る人は、ことに手あしくては心お  
とりのせらるゝを、それ何かはく  
るしからむといふも一わたりこ  
とわりはさることながら、なほあ  
かずうちあはぬこゝちぞするや。  
(玉勝冊)

(一) この度は……(書翰)

(二) 岐阜縣……(封筒のしたゝめ方)

(三) 元朝や神代のことも思はるゝ  
春枝書 (句は荒木田守武)

(三) 昭憲皇太后御歌

天つ日のてらすが如くくまなき  
はすめらみくにの光なりけり

(四) 東の野にかぎろひの立つ見えて

かへりみすれば月かたぶきぬ  
(柿本人麿)

(五) 春のやよひのあけぼのによもの

山べを見わたせば花ざかりかも  
しら雲のかゝらぬ舉こそなかり  
けれ。(慈鎮)

(六) 五月二十一日……(日記)

(附名) 中教書道女 2

昭和十九年一月二十八日印刷  
昭和十九年二月一日發行

書道二 (中等學校  
女子用)

定價三十八錢

著作權  
所有

東京部神田區岩本町三番地  
發行者 中等學校教科書株式會社

代表者 山本慶治

東京部芝區愛宕町二丁目十四番地  
印刷者 愛宕印刷株式會社

代表者 谷本正

東京部神田區淡路町二丁目九番地  
配給元 日本出版配給株式會社

發行所 東京部神田區岩本町三番地  
中等學校教科書株式會社

日本出版協會登記第一七五三

女二  
五樵ノ三